

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会
薬剤師に必要な高齢者の療養支援
(2019年6月30日 日曜日)東京開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（CPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号P02）を取得いたしております。】

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、多職種による支援が必要不可欠です。本研修会では、薬剤師から褥瘡治療について、歯科医師から摂食嚥下支援について、医師から在宅医療に求められること、臨床倫理4分割法による多職種連携カンファレンスのコツを学習します。

（細則による必須領域：A, B, C, D, G, J）

| 要 項 | | |
|-----|--------------|---|
| 1 | 主 催 | 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 |
| 2 | 研修期間 | 2019年6月30日(日) |
| 3 | 研修会場 | アーバンネット神田カンファレンス 2階 2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-6-2 アーバンネット神田ビル 2階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html |
| 4 | 認定単位 | 薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位) |
| 5 | 受講資格 | 薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者 |
| 6 | 定員 | 84名(スモールグループ形式) |
| 7 | 受講申込 | 締切り:2019年6月13日(木)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。 |
| 8 | 受講振込 | 申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。 |
| 9 | 受講料 (2日間) | 11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。 |

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内
 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp

プログラム

2019年6月30日(日曜日)

| | |
|-------------|---|
| 9:00～ | 受付 |
| 9:20～10:50 | 「褥瘡に対するプライマリ・ケア認定薬剤師としての視点とアクション」 講師:門下鉄也 褥瘡の治療薬や医療材料は種類も多く、それらが適切に使用されることが褥瘡治療の第一歩ではあるが、地域医療においては様々な制約があることも少なくない。そして褥瘡治療は様々な職種との有機的な連携が必要となる。このセッションでは、薬剤師が地域でその役割を果たすために、治療の流れと治療薬の基礎知識を整理し、さらには地域医療でのプライマリ・ケア薬剤師だからこそできることとその視点を皆様と考えたい。 (細則による必須領域 C,D,G) |
| 11:00～12:30 | ②「薬剤師さんに知って欲しい食べる支援のヒミツ」 講師:菊谷武 いつまでも、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、安心して食生活を送れることが重要である。摂食嚥下支援のためには、できるだけ早期に開始し、継続しなければならない。地域医療を担う薬剤師には、地域の嚥下機能低下のスクリーナーとして、また、食べるを支える支援者としての責務がある。 (細則による必須領域 C,D,G,J) |
| 12:30～13:20 | 昼食(各自でご持参ください) |
| 13:20～14:50 | ③「在宅医療は患者さんをシェアセにできるのか？」 —アドバンス・ケア・プランニングを中心に— 講師:高柳亮 患者さん・ご家族を支えるために、在宅医療に求められるものは何なのか？ 予後予測、緩和ケア、24時間体制、ICT、グループ診療、多職種連携、アドバンス・ケア・プランニングといった項目について、前橋地域での活動をご紹介します。アドバンス・ケア・プランニングについては、その特徴や方法、医療者が取り組むにあたっての注意点などを学びます。 (細則による必須領域 A,B,G,J) |
| 15:00～16:30 | ④「実践！臨床倫理4分割法による多職種連携カンファレンス」 講師:高柳亮 多職種連携によって様々な面における医療の質が改善することが証明されています。では多職種連携を行うために必要な「能力」とはどのようなものなのでしょうか？現場において誰もが悩むような事例について、ご参加のみなさんに色々な職種になりきっていただき、臨床倫理の4分割法を用いてカンファレンスを行います。カンファレンスに参加しながら多職種連携の視点を学びます。 (細則による必須領域 A,B,G,J) |

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

門下鉄也(薬剤師)

伊勢崎佐波医師会病院

菊谷武(歯科医師)

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

高柳亮(医師)

群馬家庭医療学センター 前橋協立診療所／前橋市医師会